

Fujitsu Software DevTech Days 2022

ご案内状

2022年12月8日(木)・9日(金)

今年の「Fujitsu Software DevTech Days 2022」は2022年12月8日(木)・9日(金)の2日間、DXの実現に向けたソフトウェアの課題・解決をテーマにお届けします。

昨今のITシステムは、DXの実現に向けてシステムのモダナイズを行うことや、クラウドサービスを利用することが当たり前となってきています。

今回のDevTech Daysでは、当社が多くのモダナイゼーション/クラウド商談を通して経験・蓄積してきた課題・解決の実践例、クラウド活用のためのノウハウ、ソフトウェア技術の活用方法や最新情報を、ソフトウェアに関わる皆さまにご紹介します。

皆さまのご参加を心よりお待ちしております。

■ お申し込み方法/詳細情報

DevTech Days 2022 特設サイトで講演内容や登壇者のご紹介、お申し込みを受け付けています。

開催に向けて最新情報が随時アップされますので是非ご覧ください。

お申し込みは2022年12月7日17時まで受け付けています。

<https://www.fujitsu.com/jp/products/software/resources/events/devtech-days2022/>



事前お申し込みいただいた方抽選350名に
ドトール イーギフト 500円分をプレゼント

■ 開催方法/お問い合わせ

会期 2022年12月8日 13:30～17:10、同9日 13:00～17:35
参加方法 オンライン(Zoom)、事前登録制(無料)
主催/お問い合わせ Fujitsu Software DevTech Days 事務局
E-mail : contact-mwconference@cs.jp.fujitsu.com

Day1

タイムテーブル	タイトル	内容
13:30～13:35	開催の挨拶	ソフトウェアプロダクト事業本部長藤原より、開会のご挨拶を申し上げます。
13:35～14:15	【オープニングセッション】 ①富士通のクラウドサービスへの取り組み ②進化するソフトウェア ～DXに向けたシステムモダナイゼーション～	富士通のクラウド戦略、ソフトウェア戦略や拡張に向けた施策、パートナーエコシステムへの取り組みをご説明します。
14:20～15:05	【特別講演】 「DX白書2021」 ～日米比較に見るDXの戦略、人材、技術～	情報処理推進機構(IPA)古明地正俊様にご講演いただく特別講演です。日米アンケートの結果を基に、日本のDXへの取組状況とその課題についてご紹介するとともに、DX戦略の推進施策やDXを実現するために必要となるクラウドコンピューティングなどの要素技術やデータ活用のあり方などについてもご説明いただきます。
15:15～15:55	富士通が考えるDXを成功に導くクラウドジャーニー ～クラウド移行の次の一歩、さあどうする？ DX推進のクラウドリフト・シフトをご紹介！～	富士通が考えるDXに向けたクラウドリフト・シフトと、そのサービスポートフォリオの全体像を紹介し、リフト・シフトそれぞれの効果や目的、課題を説明します。富士通が考える課題の解決手段と、解決のために提供している技術サポート、サービス、事例についてもご紹介いたします。
16:00～17:10	Technical Meetup 特別版 ～クラウド時代のソフトウェアビジネスの未来について語ろう！～	今後のソフトウェアビジネスの課題について、「お客様ニーズ」「他社との連携」などをキーワードに、現場を熟知したパートナー様をゲストにお迎えしてパネルディスカッションを展開します。

Day2

タイムテーブル	タイトル	内容
13:00～13:40	PostgreSQLコミッターがクラウド時代に伝えたい PostgreSQLの真価 ～データベースのクラウド化の壁を突破するために進化したPostgreSQL15～	PostgreSQL15が、2022年10月13日にリリースされました。PostgreSQL Major ContributorのAmit Kapilaが技術者の質問に答えながら、PostgreSQL15の新機能やその先のPostgreSQL16で開発中の機能や展望、コミュニティ開発の実情などをお伝えします。PostgreSQLの最新情報を知りたい方、OSSのコミュニティ開発に興味のある方におすすめの内容です。
13:45～14:25	クラウドネイティブ2.0技術を活用した 最新Javaアプリケーション開発	アプリケーション開発のベストプラクティスと言われている"The Twelve-Factor App"や"Beyond the Twelve-Factor App"を実践するためのクラウドネイティブJava最新技術と、Data Oriented Programmingなどの最新Javaパラダイムについて、デモを交えて紹介します。コンテナ技術を活かしたクラウドネイティブJavaアプリケーション開発をこれから始めようとしている方におすすめの内容です。
14:30～15:15	【特別講演】 NCRI株式会社 津田邦和様ご講演	NCRI株式会社津田邦和様にご講演いただく特別講演です。公民に跨る多くのクラウド推進活動の実績と実践に基づき、ユーザーが本当に導入すべきクラウドモデルの考え方や、ITベンダーに向けたクラウドビジネスの進め方をご提言いただきます。
15:20～16:00	既存資産を活かしたクラウドリフトを 安心して行うための勘所	オンプレミスの既存業務システムを有効活用してクラウドに移行するクラウドリフトにおいて、押さえておかなければいけないポイントをソフトウェア製品の活用事例を交えてご紹介いたします。 ■クラウドリフトで最初に考慮しておくべきこと ■クラウドでの信頼性・可用性の実現方法 ■国内企業のニーズにマッチした運用管理 また、クラウドリフト経験豊富なプロフェッショナル技術者が行うクラウドリフト支援サービスや、クラウド向けの商品ラインナップについてもご紹介いたします。
16:05～16:45	既存システムを活かしたクラウドシフトのポイント	マーケットのニーズに迅速に対応していくために、クラウドネイティブ技術を使い、既存システムを活かしてアジリティやスケラビリティを向上する、クラウドシフトに取り組むお客様が増えています。本セッションでは、アプリケーションやデータ、運用といった切り口でクラウドシフトに使える技術の活用ポイントを最新動向や事例を交えて紹介します。
16:50～17:30	モダナイゼーションにおける COBOL/帳票資産移行時の成功の鍵	お客様のDX実現に向けて、持続可能なシステムへの転換を図るため、既存資産のマイグレーション・モダナイゼーションが求められています。既存システムからの移行において、当社はレガシー環境とオープン環境両面での豊富なミドルウェア開発実績を踏まえ、マイグレーション・モダナイゼーションにおけるCOBOL/帳票アプリケーション資産の移行の勘所を事例やサービスを含めご紹介いたします。
17:30～17:35	クロージング	—

各セッションのタイトル・内容は変更となる可能性がございます。あらかじめご了承ください。